

ユネスコエコパーク通信



綾ユネスコエコパークまちづくり協議会 住民主体のまちづくりを目指し活動中！

綾町がユネスコエコパークに登録されて、7月11日で丸5年を迎えます。地域住民が主体となつて持続可能な地域づくりを目指す「綾ユネスコエコパークまちづくり協議会」では、さまざまな活動を試行錯誤しながら行っています。

協議会は、会社員や農家、主婦など約30人で構成されており、3つのグループに分かれて取り組みを進めています。

自然体験・環境学習グループでは、地域住民が地元の豊かな自然を身近に感じられるようにするために、まず自分

たちが自然についてよく知ろうと、ネイチャーゲーム体験や約60年前に林業で栄えた多古羅地区を歩く活動などを行いました。今年度は、町民の皆さんを対象に自然体験キャンプを開催します（詳しくは本誌P16をご覧ください）。商品開発グループでは、地元の野菜や果物を使った加工品を提案したいと、軽くて賞味期限も長い「乾燥野菜」の商品化を検討しています。昨年は、ブロッコリーやニンジン、日向

夏みかんで試作品を作りました。今年度は、ゴボウなどその他の野菜を使った試作品づくりや、乾燥野菜を利用した料理の試作などを進めていきます。

体験・おもてなしの宿グループでは、工芸や釣り、狩猟など綾らしい体験プログラム案を企画。町内にホームステイをしていた留学生に体験してもらい、内容の改善点などを議論しました。今年度は、「食と宿・体験」をテーマに、体験プログラム案を町内の宿泊施設に提案できることを目指します。

協議会の活動は、これからのまちづくりの一翼を担うやりのある活動です。皆さんもぜひご参加ください。

■問い合わせ先

ユネスコエコパーク推進室
☎ 77-3482

コラム オオセンチコガネ

5円玉サイズの丸い甲虫で、あの有名な「ファーブル昆虫記」に出てくるフンコロガシに近い仲間です。地域によって、赤っぽいものから緑色・青色など、さまざまな体色のものが見られます。光沢があり宝石のようなきれいな色をしています。動物のフンを好んで食べているため、見つけても直接手で触るのはためらってしまいます。

名前の「センチ」は、せっちゃん雪隠（くみ取り式トイレ）がなまったものとされています。汚いもの好きな彼らですが、森の中のフンの掃除屋としてとても大事な役割があるのです。野外で動物のフンの中にこの宝石を見かけたら、温かく見守ってあげましょう。

